



新しい日本の家づくりのために
SUPER WALL BUILDERS FAMILY
スーパーウォールビルダーズファミリー

全国のSW(スーパーウォール)ビルダーが年に一度結集する、(株)LIXIL 全国SW(スーパーウォール)会 年次大会が、去る11月13日、横浜で行われました。

同大会において、弊社社長である志水哲也が成功ビルダーの事例報告として講演をさせていただきました。

始めに三和住建の沿革、そして現会長が倒れたときの苦境と奮闘、それをきっかけにバリアフリー住宅に力を入れるようになったことなどを述べました。

常設の住宅展示場を持つことのこだわりについては、「地域密着でやっていくことの証であり、常設の展示場を持ち、それを維持し続けることはお客様への安心感、信頼につながるものと考えています。」

今後については、「認定低炭素住宅を始めとした省エネ住宅に引き続き力を入れていきます。またお客様、地域の皆様、協力業者様をはじめ皆様とのご縁に感謝し、何があってもあきらめない精神で歯を食いしばってやっていきます」と述べ、引き続き精進していくことを約しました。



【成功ビルダー講演の様子】

4年連続
最多棟数賞
受賞

皆様に支えられて 今年も SW 着工棟数No.1

三和住建は、SW チャレンジコンテストにおいて、年間(2013年10月~2014年9月の1年間)のSW工法による着工棟数で第一位となり表彰されました。皆様にいただいたご縁、ご愛顧の賜物であり、社員一同大変感謝しております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



【年間最多棟数 受賞式】



【社員一同感謝申し上げます】

サッシ窓の高断熱化が 加速

単板ガラスのシェアは8年後ゼロに!?

昨年13年ぶりに新築住宅の省エネ基準が改正され、政府は早くも6年後までにすべての新築住宅を対象に新しい基準への適合を義務付ける方針を打ち出しています。

※なお、現在三和住建の新築住宅の標準的仕様となっている認定低炭素住宅は、2020年にはすべての新築住宅で義務化される予定です

経済産業省は建材トップランナー制度によって窓の高性能化を推進し、単板ガラス(低性能窓)のシェアを2022年度までにゼロにする等、メーカー各社に高性能化を求めていく方向です。これを受け大手サッシメーカー各社は、断熱性能を高めた高性能窓の開発を本格化しています。

住宅全体の断熱性能を大きく左右する窓…新築住宅だけでなく、これからお住まいのリフォームをご検討中の方も、ぜひ窓の断熱性向上をご検討下さい。今ある窓の内側に新たに窓を取り付けて2重構造にする内窓インプラスのほか、既存のサッシをそのまま利用し、アタッチメント装着により単板ガラスを複層ガラスに交換するリフォーム方法もあります。

断熱リフォームは、省エネ効果が期待されるとともに、お住まいの方の健康面においても、ヒートショックによる心疾患等の予防や、夏の熱中症予防等に対する効果が期待されます。どうぞお気軽にご相談ください。

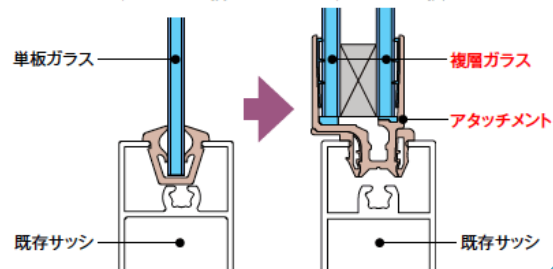
インプラスによる二重化の場合

今ある窓に、プラスするだけ。



アタッチメント付複層ガラスの場合

リフォーム前



挿絵は株式会社LIXILのホームページより抜粋しています

トドのひとり言 ⇒ 初老の戯言 ぽつぽつ...

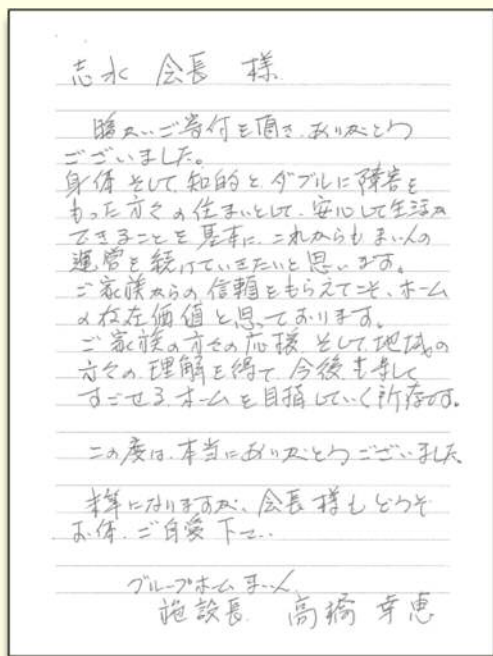
「トドのひとり言」のコーナーは前号で終わりにする予定でしたが、紙面に空きができたのか、終わりにするのがさみしいのかわかりませんが、美人の女性社員の希望で再び紙面を汚すことになりましたので、よろしくお願い致します。

タイトルを替えさせていただきます。「トドのひとり言」を書き始めた頃は私もデブでした。先日テレビのニュースでトドが映し出されたのを見て、あまりに醜いので、その夜体重を量りましたら書き始めた頃より7~8kg減っていて71kgでしたので、「初老の戯言」に替えさせていただきます。

10月29日、晴天に恵まれた絶好のゴルフ日和に「負けてたまるかチャリティーゴルフコンペ」を行いました。プロゴルファー2名の特別参加を含む83名で行い、チャリティー144,800円と、弊社からの寄付金200,000円、合計344,800円を2カ所の福祉法人と、小さな障害者施設に寄付させていただきました。

今回が20回目で、ちょうど20カ所の福祉施設に寄付をさせていただきましたので、今回で止めようと思いましたが、参加者の強い希望で、形を変えて来年から行います。このコーナーの読者でゴルフの好きな方は、どうぞご参加願います。「負けてたまるか」は私が自費で出版した拙い本の題名ですので、次回からすっきりしたタイトルになればと、社長・専務に伝えてあります。

先日「ステッキ愛好会」という珍しい会に出席しました。これは、今迄使った杖を持ち寄り、まだ使えるものは東南アジア方面に、使用できない杖はお破いして、今迄の支え感謝して処分し、後は杖を肴にして懇親会と、楽しい会でした。この会は、「世界ステッキ愛好会」もあるそうです。ステッキ(杖)については、機会がありましたらまた書きます。大変面白いですよ。



ウイズ町田様より頂いたお手紙

お施主様訪問記

今回は以前四季報 Vol.16 号で取材させて頂いた伊豆の函南町にお住まいの砂原様邸を訪問させて頂きました。

以前取材させて頂いた当時は、新築されて 1 年半後でしたが、今回は建築されて 10 年が経ったお住まいに、当時お世話になった監督が点検で伺った事がきっかけとなり再度訪問させて頂きました。

砂原様には、伊豆にお住まいになられる前の成瀬のご自宅でもお世話になり、建物がしっかりとした造りで落ち着く居心地の良い家だったと気に入られ、伊豆で遠いが是非弊社で建築して欲しいと言って頂き施工させて頂きました。

取材当日は晴天に恵まれ、リビングからは富士山がはっきりと見えて、ウッドデッキにはやまがらやしじゅうから遊びに来て、まるで別世界に来た様でした。

リビングでお話を伺っていると、当時こちらの土地を専務と一緒に探し、富士山が見える眺めの良い場所が一遍で気に入って決められたというなつかしいお話を聞かせて頂き、私達もつい時間を忘れ、遊びに来られるお友達もゆったりとくつろがれ、時がゆっくりと流れているような落ち着く空間だということを実感しました。



お施主 砂原様邸
建築地 静岡県
建築年度 平成 16 年



【ウッドデッキからの絶景の富士山】



【眺めの良いリビング】



【温泉のお風呂】



【小鳥の水飲み場】

10 年経って住み心地は、いかがですかとお伺いしたところ

「スーパーウォール工法で建てた住宅は、夏涼しく冬は暖かで 3. 11 の地震の時も家が揺れず、造りがしっかりしている事を改めて感じたね。」「全ての窓がペアガラスだから閉め切ると秋の虫の鳴き声が聞こえないのがちょっと残念だけど、騒音が聞こえないのはいいね。」「階段も間口の幅を広くとっているので疲れないし、引戸で段差がなくリビングから寝室、玄関へと動線が繋がっている設計は便利で住みやすいよ。」

など感想を聞かせて頂き、

「この土地と家のお蔭で健康でいられてストレスを感じず贅沢な毎日を過ごしているなあ。」と微笑んでおっしゃられ、ご満足して住まわれている様子がうかがえ大変嬉しく思いました。



【いつまでも仲睦まじいご夫婦】

10 年経っても床やクロスは傷も汚れもなく、きれいに使っておられて、まるで新築時のようでした。また壁に使われた木のピーリング材は、年月を経て木の木目が色濃く出て味わい深く、この建材を薦めてもらって良かったと喜んで下さっていました。

今回の 10 年点検では、屋根・外壁塗装工事をお世話になり、更にきれいになり外的要因から家を守って長く住んで頂く事が出来ます。

これからもお客様が住みたい場所、環境、そして快適な住まい造りのお手伝いをさせていただけること、またそのご縁に感謝し、新築時だけでなくお引渡しさせて頂いてから、10 年、20 年経っても、長くお付き合いさせて頂けるよう努力していきたいと思えます。

砂原様この度の取材もご協力頂き本当にありがとうございました。

編集後記

今年も残すところあとわずかとなりました。

2014 年は自然災害が多く環境の変化を感じる一年だったように思います。

一年を振り返り、SW の受賞を昨年に引き続き今年もさせて頂けた事、負けてたまるかのゴルフコンペ 20 回を数えられた事、すべては今までのお客様とのご縁があつての事と深く感謝しております。

今年もご愛顧を賜り本当にありがとうございました。

弊社の年末年始休業期間は 12 月 30 日(火)～1 月 5 日(月)までとなっております。

皆様におかれましては年の瀬の忙しさから体調など崩されませぬようお気を付け下さい。来年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

弊社の分譲住宅は、ジェントルハウス原町田(全 9 区画)残り 2 区画、ジェントルハウス玉川学園(全 3 区画)残り 1 区画で好評販売中です。お知り合いの方などでご興味がありましたら、ご紹介頂けると幸いです。